

ニューワイド教材ライブラリ 活用事例

水戸市立吉田小学校 金澤大輝先生



使用学年 : 4～6年生
使用科目 : 国語・算数・理科・社会・英語
導入ソフト : ニューコース学習システム
ニューワイド教材ライブラリ

2023年に150周年を迎える水戸市立吉田小学校では、今年度の学校経営方針「吉田の夢育レインボープラン」にて「一人一台端末環境での個別最適な学びと協働的・探究的な学びの充実」を掲げ、ICT教育を推進しています。

以前は児童用端末が少なく、児童が調べたいときに十分調べられないことが課題だったそうですが、ICT環境が整った昨年度より「ニューコース学習システム」「ニューワイド教材ライブラリ」を採用いただき、さまざまなシーンでご活用いただいています。

今回は、同校で研究主任を務めている金澤先生にお話を伺いました。

活用シーン

◆ 私は6年生を担当しています。「ニューコース学習システム」は、国語、算数、理科、社会の授業で活用しており、朝の学習時間や単元のまとめの時間などには、「要点解説ムービー」を流して学習の振り返りにも活用しています。

◆ 「ニューワイド教材ライブラリ」は、主に理科、社会で活用しています。とくに「動画でわかる理科実験図鑑」は、1回の説明では手順がわからなかった子がくり返し確認するのに役立っています。わかるまで自分で確認することで、みんなと同じ土俵に立つことができ、目を輝かせながら意欲的に実験に取り組む姿が見られて、非常によいコンテンツだと思います。

◆ 社会科では頻繁に活用しています。あるとき歴史の授業の終わりに「ニューワイド」で年表を調べた子が、「今日一日で、百年分も勉強したんだね」と言ったことがありました。児童が知りたいときに、すぐ調べられることで、その時間の学びが次に広がる手立てとしても活用できていると感じています。



▲ニューワイドの理科実験図鑑。実験方法や器具の使い方を動画でていねいに解説。



▲年表や解説などさまざまな形式で調べられる。

評価ポイント

◆「ニューコース学習システム」も「ニューワイド教材ライブラリ」も、勉強が苦手な児童でも意欲的に取り組むことができるツールになっていると思います。実際に6年生でわり算ができなかった子に「ニューコース」でどこを学習したらよいか教え、さらに周りの子にも助けてあげるよう伝えたところ、休み時間に学び合う姿を見ることができました。その後、その子はわり算ができるようになり、算数の学習にも前向きに取り組めるようになりました。

◆「ニューワイド」は「なに、いつ、どこ、だれ、なぜ」の5Wから調べ始めることができ、入力が苦手な子も使いやすい点や、ふりがながあり、児童にとってわかりやすい検索結果が出る点などを評価しています。余分な情報がないため時間的なロスがなく、正しい情報が得られるという点も、情報モラルの観点から大事なポイントだと考えています。



▲インタビューにご協力いただいた
金澤大輝先生

研究だより



きょうどう



水戸市立吉田小学校
第13号
令和4年8月23日

ニューワイド 使ってみませんか

学研のニューワイドについてお知らせします。ニューワイドは、授業中や自主学習で簡単にすぐに分かりやすい情報を収集することができます。デジタル百科事典として、教師の工夫や児童の使い方で無数の可能性を秘めている教材です。

ポイント① 操作方法が分かりやすい。

視覚的に分かりやすい操作画面になっているので、教師側からの説明はほとんど必要ありません。児童が自分の知りたいことをとことん追究することができます。

ポイント② 「なに?」「いつ?」「どこ?」「だれ?」「なぜ?」の視点で調べることができる。

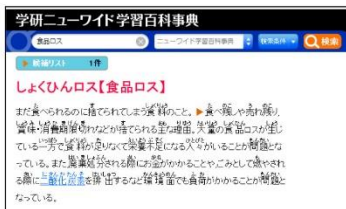
4つの視点から、児童が知りたいタイミングで調べることができます。



『文房具』として
タブレットを活用できます!

ポイント③ 余分な情報がなく、必要な情報にすぐにたどり着くことができる。

インターネット検索をすると、説明が大人向けで小学生には理解できない内容も散見されます。しかし、ニューワイドは児童向けに分かりやすく説明されているので、必要な情報にすぐにたどり着くことができます。



児童でも理解できる説明になっています!
ルビもふってあります!

ポイント④ 本校の研究主題を達成する一助になる。

本校の研究主題は、「他者と関わり合い、互いに高め合う協働的な学びの実現 ―情報を整理、分析、表現する活動の工夫を通して―」です。ニューワイドでは、すぐに知りたい知識を得ることができるので、自信をもって自分の考えを表現することができるようになります。また、グループ学習などで調べ学習を分担し、発表し合うこともできるので、協働的な学びと親和性があります。

▲金澤先生が作成している職員向けの研究だより。タイトルには「協働」と「今日一緒にやってみない?」=「今日、どう?」の2つの意味が込められている。

◆本校では「協働的な学びの実現」を研究主題にしていますが、これは端末の活用が増える一方で、対話が減少しているという現状からです。校内アンケートでも「自分の意見を誰かに伝える、表現するのが苦手」と感じている子が増えていました。

そこで今年度は、自分の興味や関心があることを調べてノートにまとめる「自主学習ノートづくり」を宿題にしました。朝の会では、調べてまとめたことを、スライドを使って発表する時間を4年生以上で設けています。

このノートづくり、スライドづくりにも「ニューワイド」がとても役に立っています。しっかり調べて、根拠を理解すれば自信をもって発言できるようになる、そのために、これからも「ニューワイド」を活用していきたいと考えています。

インタビュー実施日：2022年8月25日